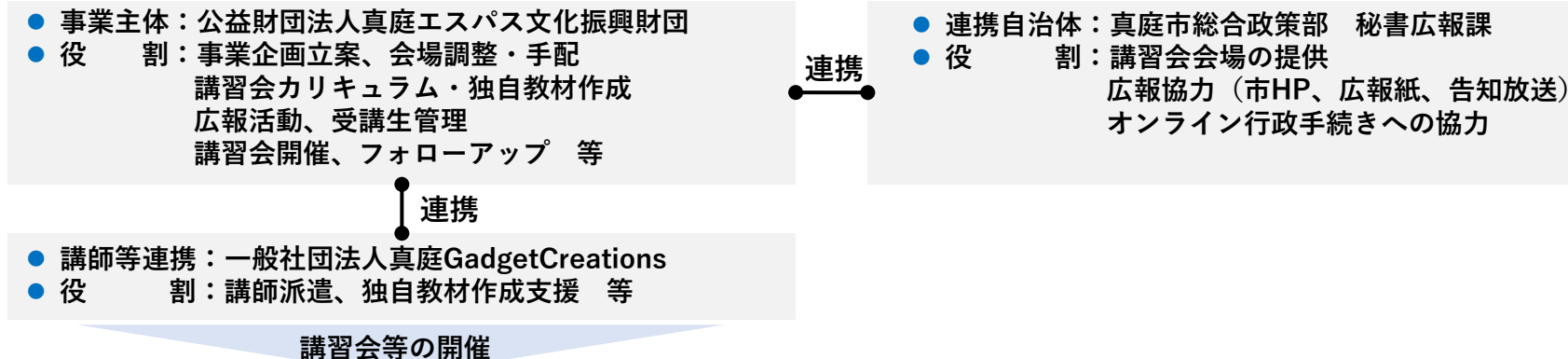


## 申請者名

公益財団法人真庭エスパス文化振興財団

## 体制図



スマートフォン活用に悩んでいる方・これからスマートフォンを利用してみようと思っている方

講習会等を通じて

地域内での学びあいやスマートフォンを活用した繋がりが生まれる活動へ発展

- 講習会実施会場・・・真庭市各振興局、文化センター等の市内8会場（地域間の偏りがなく市内全域で開催できるよう選定）

## 基本講座

	電源の入れ方等	電話のかけ方等	アプリ等	ネットの使い方等	メール等の使い方	地図アプリの使い方	SNSの使い方	オンライン会議	安心・安全
実施コマ数	16	16	45	27	－	11	11	－	－

## 応用講座

	マイナンバーカード	マイナポータル	マイナポイント	e-Tax	オンライン診療	地域オンライン行政
実施コマ数	3	－	－	－	－	－

支援員数	アシスタント数	基本講座：実施コマ総数	応用講座：実施コマ総数	相談会：実施コマ総数	合計
4	3	27	3	15	45

## 講師を確保・養成・管理

### ● 講師の確保

- ・講師は当財団に勤務する職員2名及び、連携先団体職員2名の計4名とする。
  - 当財団職員2名は、日頃から真庭市内におけるインターネット加入手続き、環境構築等の問合せ、相談窓口に従事している。また、1名は、一般社団法人日本CATV技術協会 CATVエキスパート（ブロードバンド等）の資格保有者である。
  - 連携先団体職員の1名は、小学生向けのプログラミング講座（真庭市委託）の講師を務めた実績を有している。

### ● 講師の養成

- ・執行団体主催の研修を必ず受講できる機会を組織として確保し、支援員としての認定を受ける。
- ・講師予定者が同一の職場であることを活かし、コミュニケーションを深めながら、本事業に対する双方の認識・考えの共有講習会の振り返り等を実施し、質の高い講習会の実現に努める。

### ● 講師の管理

- ・連携先団体の講師については、2回／月程度の事業進捗ミーティングやビジネスチャット等を活用し、本事業の推進に支障がないよう管理を実施する。

## 講習会等の実施イメージ

事業期間前半（少人数制）

スマホの基本的な操作に不安がある人

- ・電源のOFF／ON、電話のかけ方等の基本的な講座を市内7会場で開催

スマホ未利用者

- ・スマホに触れて、基本的な操作を学ぶ講座を市内1会場で開催



Webアンケート（講習会のカリキュラムで必ず実施）  
→ 研修内容の要望や、スマホ活用シーン等

次の講習会カリキュラムへ反映

事業期間後半（少人数制）

スマホを活用したい人

- ・SNS、アプリ等の活用、講座を市内7会場で開催（別枠で応用講座）

スマホ未利用者

- ・スマホに触れて、基本的な操作を学ぶ講座を市内1会場で開催



相談会

- ・相談会をセットにし、理解の浸透、フォローアップを実施



Webアンケート（講習会のカリキュラムで必ず実施）  
→ 研修内容の要望や、スマホ活用シーン等

次の講習会カリキュラムへ反映